

Sequence

01 ガバナーメッセージ

親愛なる地区内クラブ会長の皆さまへ

CONTENTS

ガバナーメッセージ Sequence 01

クラブ紹介
[足利RC] [足利東RC]
[足利わたらせRC] Sequence 02IM報告
第7G Sequence 03

RLIパートⅢ報告 Sequence 04

PELS/SELS
開催報告 Sequence 05

新入会員/お知らせ Sequence 06

コーディネーターニュース Sequence 07

2026年3月会員数報告 Sequence 08

青少年奉仕月間に寄せて～未来を育てるのは、私たちのまなざし～

親愛なるクラブ会長の皆様、こんにちは。

さて、5月の特別月間は「青少年奉仕」です。

ロータリーにおける「青少年奉仕」は、未来への最も尊い投資の一つです。

それは、単に若者を支援することではなく、彼らの中にある可能性を信じ、その成長に寄り添い、ともに歩むことにほかなりません。

若者は、時に自信を失い、迷い、不安を抱えながら日々を過ごしています。

しかし、そのような時に、周囲の大人からかけられた一言や、あたたかい励まし、真剣に向き合ってくれる姿勢が、その後の人生を大きく変えることがあります。

「あなたならできる」「あなたを信じている」

そうした言葉や関わりが、若者の心に灯をともします。

私たちロータリーは、その“人生の転機”に寄り添うことのできる存在です。

第2550地区では、これまでインターアクト、RYLA、青少年交換など、さまざまな青少年育成の機会を大切に育んでまいりました。それぞれの活動は、単なるプログラムではなく、若者たちが自分を見つめ、仲間と出会い、社会とのつながりを実感しながら成長していく、かけがえのない学びの場となっています。

とりわけ、本地区における台湾3470地区との継続的な交流は、青少年奉仕の大きな特色の一つです。

異なる文化や価値観に触れながら、互いを理解し、友情を深めていく経験は、若者たちに広い視野と豊かな感性を育みます。

言葉の壁を越えて心を通わせ、別れの場面で涙を流す姿には、交流の本質が映し出されています。

その経験は、彼らの人生の中で長く生き続ける「心の財産」となることでしょう。

また、第2550地区の青少年奉仕の魅力は、こうした制度や機会の充実だけではありません。

そこには、地域に根ざした「人のぬくもり」があります。

本地区は、都市部だけでなく、地域社会との結びつきが深いクラブも多く、会員の皆様が家族のような距離感で青少年を見守り、励まし、支えてくださっています。

そのあたたかな関わりこそが、若者たちに安心感と挑戦する勇気を与えているのだと思います。

現代社会において、青少年を取り巻く環境は決して容易ではありません。

将来への不安、人間関係の悩み、情報化社会の中での孤独など、目に見えにくい課題を抱える若者も少なくありません。だからこそ今、私たち大人が果たすべき役割はますます大きくなっています。

R.I.D. 2550 tochigi
Facebook QR国際ロータリー第2550地区
ガバナー 二十二 修 (宇都宮北ロータリークラブ)

[足利ロータリークラブ]

当クラブは、東京ロータリークラブの子クラブとして、足利市で最初に創立され、来年75周年を迎える伝統あるクラブです。現在は、会員数24名と、人数は少ないですが、40代、50代が6割以上を占め、積極的に新しい活動を行っています。

職業奉仕活動としては、30年以上の間、足利高校の1年生を対象に、職業進路講演会を開催してきました。4年前からは、生徒たちに全国区で活躍する方たちと触れ合う機会を提供できればと、足利市内の職業人に限らず、会員の人脈を活用して、大学教授、ゲームクリエイター、企業の研究職、大手広告会社の役員、官僚等、足利高校のOB、OGをはじめ多くの分野で活躍する方たち10名に毎年手弁当でお越しいただき、ご自身の職業に関することや高校時代のこと、人生経験から生徒たちに伝えたいことなどを、講演をしていただいています。受講後のアンケート結果からは、生徒たちが講演を聞いて新たな職業に興味を感じたことや高校時代の過ごし方において改めて考える機会となったことをうかがい知ることができ、今後も大切にしていきたい素晴らしい活動であると自負しております。

また、今年度は4月に、青少年奉仕活動として、足利東ロータリークラブとの共催で、東京から講師を招き、経済的に困難なご家庭の子供たちをメインの対象に、小学校の体育館を借りて、サイエンスショーを開催することとなっています。初めての試みで、試行錯誤しながら準備に取り組んでおりますが、今から子どもたちの反応がとても楽しみです。

そのほか、月2回の例会、毎年恒例の足利花火大会の懇親会、クリスマス例会、東京ロータリークラブのメイク等を通じて、楽しい時間、学びの時間を共有し、会員同士の親睦を深めております。

今後も、地元足利市の地域活性化や、将来を担う子どもたちに貢献できる奉仕活動に積極的に取り組んでいきたいと思っております。



足高講演会



クリスマス会



東京RCメイク

足利ロータリークラブ

2025-26年度会長 長壁 孝広

幹事 照本 夏子

[足利東ロータリークラブ]

当クラブは、1961年(昭和36年)2月に足利クラブをスポンサークラブとして誕生し、今年創立65周年を迎えます。

これまでに国際ロータリー理事1名、地区ガバナー3名を輩出し、次年度は、中谷研一会員が国際ロータリー理事に就任する等、R I 及び第2550地区において多くの会員がその重責を担ってきました。

当クラブの最大の特徴は、一言で言えば「アットホームな結束力」だと思っています。現在、幅広い年齢層と多種多様な職業を持つ会員が在籍していますが、例会や奉仕活動は常に和気あいあいとした雰囲気に含まれています。ベテラン会員同士、若手会員同士が分かれてしまうのではなく、世代やロータリー歴を超えて、会員全員が伸び伸びと活動している印象です。また、地区委員長や地区委員も多数在籍しており、ロータリー活動に積極的な会員や実行力のある会員が多いことも特徴の一つかと思えます。当クラブの活動は、比較的多い方かと思えますが、会員の皆さんが積極的に活動してくださるので、クラブ会長としてはとても楽です。

当クラブの活動の中では、フィリピンでの国際奉仕活動が一番歴史の長いものとなっております。中谷研一会員が1992年(平成4年)に行なった無料医療奉仕活動がこの活動の始まりで、その後30年以上に亘って続いており、本年もインターアクターの高校生も参加して実施されています。また、国際的な活動としては、グローバル補助金を利用したタイ王国のクラブとの共同プロジェクトも複数回実施されています。

海外での活動以外にも、貧困家庭、フードバンク、子ども食堂への支援等を通じた足利での社会奉仕活動にも力を入れております。



フードバンクへのお米寄贈

当クラブは、足利東及び足利大学ローターアクトクラブ並びに白鷗大学足利高校及び足利大学附属高校インターアクトクラブの提唱クラブとなっており、各ローターアクトクラブ、インターアクトクラブと連携した青少年奉仕活動も積極的に行っています。

そして、「クラブでの居心地の良さ」こそが、奉仕活動へと向かう強力なエネルギーの源泉となるとの考えの下、今年度は、親睦活動に特に力を入れており、会員ご家族も交えた親睦会や移動例会などを通じ、メンバー間の心の距離を縮める工夫を凝らしています。

最後に、「足利東は敷居が高そうだな。」とお感じになる方もいらっしゃる様ですが、当クラブはとてもフレンドリーなクラブとなっておりますので、足利にお越しの際は、ぜひ当クラブの例会へお立ち寄りいただけますと幸いです。



IAC、RAC との足尾植樹祭への参加



フィリピンでの国際奉仕活動

足利東ロータリークラブ
2025-26年度会長 大塚 俊介
幹事 齋藤 敏男

トップページへ
戻ります



〔足利わたらせロータリークラブ〕

足利わたらせロータリークラブは、渡良瀬川の流れとともに歩み続け、今年で創立35周年を迎えます。地域に根ざした奉仕活動を大切に、子どもたちの健全育成や地域行事への協力を中心に、継続的な活動を行ってまいりました。

当クラブの代表的な事業である「わたらせ杯少年・少女野球大会」は、今年で41回目を迎えました。前日の大雨によりグラウンド整備から始まる大会となりましたが、地域の子どもの元気な姿に支えられ、無事に開催することができました。優勝・準優勝チームの笑顔や、会員が運営に携わる姿は、長年続く本大会の温かい雰囲気象徴しています。

また、地域行事への協力も積極的に行っています。泗水学園納涼祭では飲料販売や餅つき大会の支援、花火大会後の清掃活動、サッカーフェスティバルでの飲料提供、エコキャップ収集など、地域の皆さまとともに活動する機会が多くあります。さらに、徳蔵寺で開催されたピンポン大会では、ジュース提供やかき氷のお手伝いを行い、子どもたちや地域の方々との交流を深めました。

親睦活動も当クラブの大きな特徴である同好会です。麻雀部・ゴルフ部・旅行部など、会員が気軽に参加できる活動が充実しており、世代を超えた交流が自然に生まれています。例会も和やかな雰囲気、新入会員でもすぐに溶け込める環境が整っています。

一方で、会員数の減少に伴う活動予算の縮小や、奉仕活動の固定化といった課題もあります。これに対し、会員増強フォーラムの開催、候補者リストの作成、会員による説明訪問、クラブ案内パンフレットの作成など、増強に向けた取り組みを進めています。また、新入会員のフォロー体制強化に向け、相談担当の設置や役職の固定化を避ける運営体制の見直しにも取り組んでいます。

これからも奉仕と親睦を大切にしながら、地域に寄り添うクラブとして活動を続けてまいります。

足利わたらせロータリークラブ
2025-26年度会長 阿由葉 寛
幹事 北川 和寿



阿由葉会長始球式



優勝旗授与西宮



泗水学園納涼祭



餅つき



ピンポン大会集合

Sequence
03 インターシティミーティング報告

第7グループ報告

第7グループガバナー補佐
和貝 益男 (今市きぬRC)

第7グループのIMは令和8年2月8日、鬼怒川パークホテルズを会場として開催致しました。夜来の降雪で、大変足元が悪く寒い朝になってしまいましたが、朝には雪も止み、多くのメンバーにご集合頂きました。

第7グループは日光ロータリークラブ、鹿沼ロータリークラブ、今市ロータリークラブ、鹿沼東ロータリークラブ、そしてホストクラブの今市きぬロータリークラブの5クラブで100名近いメンバーが集合しました。

受付を済ましたクラブ順に昼食を摂って頂きました。ホテルでの食事という事で、和の御前を用意し、皆様に味わって頂きました。

会場を移動し13時からの開会となりました。始めに和貝ガバナー補佐の点鐘から入り、国歌斉唱、ロータリーソング斉唱、各クラブ紹介と続き、その後斎藤宏明実行委員長より歓迎の挨拶が述べられました。ご来賓としてお招きした瀬高日光市長にはIM開催に対しての祝辞

を頂きました。和貝ガバナー補佐からは当クラブがホストクラブとして担当するのは6年ぶりであること、国際ロータリー会長フランチェスコ・アレツォ氏のメッセージ「よいことのために手を取り合おう」の持つ意味が、奉仕、信頼、友情、仲間との連携、会員の増強等々大変幅広いものであること、そして二十二ガバナーの行動指針がR I 会長のメッセージを受けて「メンバーがそれぞれに特色を持って実践すること」であると伝えました。又、今年度は当2550地区からR I 理事エレクトとして中谷研一氏(足利東RC)が輩出された記念すべき年度であることを伝えミーティング前半を終了しました。

休憩後記念講演として日光市出身のソプラノ歌手、石井真由美様による「楽しいコンサート」を開きました。聴きなれた歌を中心に歌唱して頂き、その美声と声量に圧倒されました。又、音楽を通して脳活を奨めており全員が歌に指の動きを合わせて合唱しました。

後半のミーティングに於いては各クラブの年間活動報告が行われ、それぞれに特徴のある内容で関心をもって視聴することができました。クラブ発表後ガバナー補佐の総評が述べられ、それぞれのクラブの個性をさらに伸ばして活動される様伝えました。

ミーティングも終盤を迎え、第7グループガバナー補佐エレクト黒田様による次年度に寄せる期待と協力、ホストクラブとしての熱い思いが語られました。閉会にあたり当クラブ鈴木公人会長よりIMの成功とメンバーの皆様へ無事に進行できたことへの感謝の辞が告げられました。最後に和貝ガバナー補佐による終了の点鐘で幕を閉じました。


[トップページへ
戻ります](#)

Sequence

04 RLIパートⅢ 実施報告



2026年4月5日にホテルニューイタヤにて、ロータリー・リーダーシップ研究会(RLI)パートⅢの研修会が行われ、今回2550地区のメンバー14名に参加していただきました。RLIは基本的にパートⅠからパートⅢまであり、今年度、第一回目としてパートⅠを8月24日にパートⅡを11月30日に行いました。そして、今回は、パートⅢを行いました。ここで、パートⅠからⅢまで終了した卒業生が8名おりました。おめでとうございます。なお、卒業してからも卒後コースもありますので、よろしくお願いします。

今回のパートⅢは、50分で一つのテーマをディスカッションしていただき、一日で6つのテーマを学習していただくので、一日6時間授業となります。皆さん、学生の時には、一日で6時間受けていたかもしれませんが、卒業してからは、なかなか、丸一日かけて6時間授業を受けることはないのではないかと思います。そこでも、皆さん頑張って活発な意見交換ができていました。

本来RLIは、研修を行うことにより知識を得、また、他クラブの人たちとディスカッションを行うことにより、他のクラブでは、どのようなことを



行っているのかを参考にでき、結果として各自が自クラブに戻り、その得た知識を使ってもらい、クラブを活性化することが目的となっております。

本日、パートⅢを行ったわけですが、是非、皆様には、パートⅠからパートⅢまで受講終了し、卒後コースまで、研修を受けていただければ、ありがたいと思っております。RLIのディスカッションの方法としましては、講義形式ではなく、ファシリテーター(進行役)が各人に質問を投げかけ、それを答える形式で行います。そこでは、他のクラブの方々がおりますので、各クラブの違った運営の仕方を聞き、新しい発見をすることは、とても良い参考になると思いますし、一日受講すれば、たくさんのクラブの内容を聞くことになるわけですから、とても有意義な研修になっていると思います。今回も、皆様が、他クラブの内容を聞いて有意義な情報を自クラブに持ち帰りクラブの活性化ができることと信じています。



今回、参加していただいた方におかれましては、一日研修を受けていただきまして、ありがとうございました。また、是非とも、まだ受講されていないメンバーの皆様には、RLI研修に積極的に参加していただくことをお願いし、同時に我々と一緒にファシリテーター(進行役)にも興味を持っていただけるとありがたいです。よろしくお願いいたします。



RLI委員会ファシリテーター委員長

福富 正浩 (栃木RC)

2026－2027年度国際ロータリー第2550地区 会長エレクト並びに幹事エレクトラーニングセミナー報告

国際ロータリー2026-2027年度の会長エレクト・幹事エレクトラーニングセミナーに参加し、実行委員長として全体の運営と進行に携わりました。本セミナーは、次年度に向けたクラブ運営の基盤を築く重要な機会であり、参加者がそれぞれの役割を理解し、実践的な知識を習得することを目的として開催されました。

高橋智純ガバナーエレクトが、オラインカ・ハキーム・ババロラRI会長を紹介し、メッセージ「持続可能なインパクトを生み出そう」を参加者に伝えました。

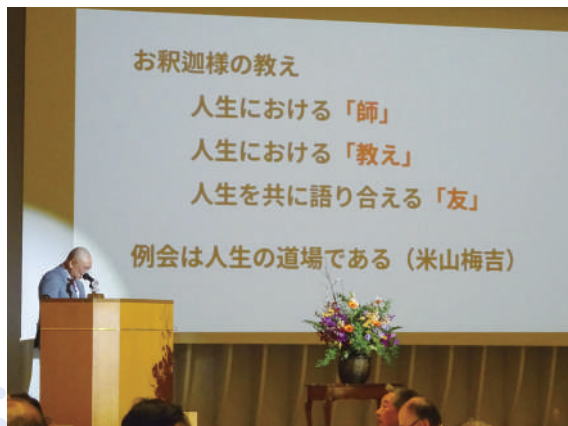
「未来は私たちから 自分を変えられれば、地域社会を変えられます。そして、地域社会を変えられれば、世界で、地域社会で、自分自身の中で、持続可能なインパクトを生み出すことができます」

当地区および各クラブにおける「インパクト」を、

- ・これまでの実績を超える会員増強
- ・新たな時代を切り開く斬新なクラブの設立
- ・伝統の継承にとどまらない革新

と定義し、また地区目標を伝えました。

今回のグループディスカッションのテーマを「クラブDXの強化」と決め、地区DX推進委員長の市井 元(真岡西クラブ)委員長に説明を頂きました。その後、各グループの会長エレクト・幹事エレクトに協議していただき、協議の結果、各クラブの目標・会員への配慮・仕組み作り・親睦と奉仕・様々な課題が現れて、他クラブ同志の繋がりが出来、そして活発な意見交換が行われました。実行委員会としては、円滑な進行と学びの質の向上に努め、参加者同士の交流も深められるよう工夫を重ね、次年度への意欲向上につながるセミナーとなったと思います。



今後は、本セミナーで得られた知見を各クラブに持ち帰り、地域社会へのより一層の貢献につなげていくことが期待されます。

今回のセミナーにご協力頂きました、ガバナー二十二 修様・パストガバナー三井 福次郎様・DX推進委員長市井 元様を始めロータリアンの皆様と、ガバナー事務所の方、そして会場でのサポートをして下さったスタッフの皆様に感謝をもうしあげます。ありがとうございました。

PELS・SELS実行委員長

星野 仁 (西那須野RC)

トップページへ
戻ります



Sequence
06 新入会員 / お知らせ

【新入会員紹介】



鹿沼 RC

ケアパートナー宇都宮・ヘルパーステーション
介護士(訪問介護)

石川 さやか

(いしかわ さやか) 2026.4.2入会

活動を再開できること、受入れて下さった
鹿沼RCの皆様に感謝申し上げます。



大田原 RC

(株) 足利銀行大田原支店
統括支店長

小菅 崇

(こすげ たかし) 2026.4.6入会

宜しくお願い致します。

地区内・外 主要行事予定

▶ [地区ホームページへ](#)

送金カレンダー

▶ [地区ホームページへ](#)

クラブ定例報告カレンダー

▶ [地区ホームページへ](#)

例会場/事務所一覧

▶ [地区ホームページへ](#)

地区組織図

▶ [地区ホームページへ](#)

(公財)ロータリー米山記念奨学会ニュース

▶ [「ハイライトよねやま」へ](#)

文庫通信

▶ [ロータリー文庫へ](#)

文庫通信 397号 : 国連 (United Nations) とロータリー

「創造の淵に立ち会う (ロータリアン誌3月号より)」ロータリアン総編集委員/友 : 1995・4月/5P
 「第36回国際大会事務員 抜粋「リチャード・ウェルズ会長報告より : 国連会議」(非公式AI参考訳)」
 リチャード・ウェルズ/1945/RI/4P
 「FROM HERE ON! : (国連憲章の条文をロータリアン向けに解説した冊子) (非公式AI参考訳) 1945/RI/125P
 「ロータリーと国連連合」亀井昭伍/友 : 1996・3月/2P
 「UN (国連連合) を如何に愛するべきか」財蘭
 (カルロスPカマロ・ワンワイヤコン殿下・ウオレンRオースチン・レスターBピアソン/友 : 1995・3月/2P
 「国連の新しい方向を探る 〜デジタル前国連事務総長とのインタビュー〜 (ロータリアン誌3月号より)」
 ホルヘ・ペライド/友 : 1995・5月/RI/2P
 「Voices for PEACE 平和を求めよう (THE ROTARIAN 2003年2月号より)」
 アンソニーGグリーン/友 : 2003・2月/RI/6P
 「国連事務総長がロータリーに参画 (付 : 国際大会議事録のご挨拶原文(非公式AI参考訳))」
 澤藤文/友 : 2009・8月/convention proceeding/RI/7P
 「国連でのロータリーデー」RUWEBサイト

PDFの閲覧には「ローザー名」「パスワード」が必要です。ご不明の場合は、各事務所またはロータリー文庫にお問い合わせください。
 参考訳はRI非公式であり、私的翻訳またはAI翻訳のため正確ではないこととご留意ください。あくまで参考として「公式英文書」に理解の一助としてご利用ください。
 〒105-0013 東京都港区浜松町2丁目7番16号 第3小森ビル別館6階

Sequence

07 コーディネーターニュース

Rotary
Region 1, 2 & 3ロータリー
NEWS

2026年5月号 No.1

発行：Region 1, 2 & 3
RMC, RPTC, RRFC, E/MGA, EPNC
行動計画推進リーダー
国際大会推進チーム

第1地域 ロータリー会員増強コーディネーター補佐 花田 勝彦（五所川原 RC）

「花田さん、ロータリーの件なんだけどさ、来年、何か役割決まってる？」

田中久夫 RMC から ARMC の打診のご連絡をいただいたのは、ガバナー年度が丁度半分終わる 2024 年の大晦日のことでした。我が 2830 地区は、その年の 1 月の RI 理事会で、2026 年 7 月 1 日に会員数が 1,100 名に達しなかった場合は、隣接地区と合併することに同意するという決議がなされ、まさに緊急事態でした。地区として会員増強の崖っぷちに立たされていたガバナーですから、そのような経験が、良い意味で他の地区にも還元できるのであればと考え、ARMC の就任を承った次第です。

会員増強にとって大切なことは、クラブが魅力的であり、クラブの会員が地域で一目置かれる存在であること、そのような人が多く集まるクラブには、入会を希望する会員候補者が自然と多く現れるはずであると考えています。ロータリーを自分磨きのための適切な場所とするためにも、自分自身の一挙手一投足が見られているという意識をもち、立ち振る舞いや話し方にも気をつける。また、楽しくなければロータリーは続きませんから、仲間を増やし、大いに親睦を深めることも大切です。本来は、このようにして自然に会員が増えていくことが望ましいと思っているのですが、それも今のままの地区があつてこそ、という面もあります。2013 年の規定審議会で、地区の最低会員数を 1,200 名から 1,100 名に修正してもらうことに成功したのは、ほかならぬ 2540 地区と 2830 地区です(決議 13-109)。その 2 つの地区が、今 1,100 名を下回ることで地区合併の危機に立たされています。ここは何としても乗り越えていきたいところです。

会員を増やすための具体的な方策としてまず考えられるのは、衛星クラブの設立でしょう。8 名の会員候補者を集めて、従来型のクラブではできない特徴あるクラブを設立することができることから、多くの地区で取り組んでいることと思います。既存のクラブ内で会費を抑え、会員数を増やす方法として、2830 地区で昨年以來取り組んできたことは、クラブ独自の正会員の種別を多様化することです。ファミリー会員、後継者会員、シニア会員、特別会員など、これまでは会費負担が大きく、正会員へのハードルが高かった方を会員としてお迎えできる方策の 1 つです。導入に当たっては、クラブ細則を改正する必要があるため、クラブ細則の改正案を作成しました。

My ROTARY のラーニングセンターの左上「ユーザーメニュー」に「学習トピック」という項目があります。下の方にスクロールして、「もっと読み込む」をクリックして進んで行くと「柔軟性を取り入れたクラブ細則の実例」というタイトルで、細則案を掲載しています。RI 日本事務局の尾畑さんにアップしていただきましたので、導入を検討しているクラブは是非ご参照下さい。

<https://learn.rotary.org/members/share/asset/view/137278>

アクセスには My ROTARY へのログインが必要です。

トップページへ
戻ります

Rotary
Region 1, 2 & 3



コーディネーター 2026年4月号 No.2
NEWS

発行：Region 1, 2 & 3
RMC, RPIC, RRFC, E/MGA, EPNC
行動計画推進リーダー
国際大会推進チーム

第2地域 ロータリー財団地域コーディネーター補佐 古川 静男（松本西南 RC）

ロータリー財団では、日本から海外へ留学する学生のためにグローバル補助金を利用した奨学金制度を準備しています。このグローバル補助金による奨学金を利用できるのは、ロータリーの7つの重点分野のいずれかに該当する分野を専攻することが条件となっており、①平和構築と紛争予防、②疾病予防と治療、③水と衛生、④母子の健康、⑤基本的教育と識字率向上、⑥地域社会の経済発展、⑦環境のいずれかに該当する必要があります。

グローバル補助金による奨学生の数は、2010年から2023年の13年間で合計421名（年平均32名）となっています。コロナ禍で一時減少しましたが、直近5年間では、

令和6年度50名、令和5年度49名、令和4年度39名、令和3年度37名、令和2年度82名となっていました。グローバル補助金による奨学金制度は、2013年に「未来の夢計画」としてロータリー財団の補助金制度が大幅に変更されて誕生したのですが、それ以前は「国際親善奨学金制度」というものがあり、7つの重点分野に限定されずに、音楽、芸術、文学、建築、エンジニア、自然科学、宇宙工学、経済、法学、心理学、IT等、様々な分野の学生が対象となっていました。この「国際親善奨学金制度」は1947年からスタートしましたが、2013年までの65年間で延べ8,299名（年平均128名）の留学生在がこの奨学金を利用していました。国際親善奨学金制度がなくなり、新たに「グローバル補助金」と「地区補助金」が誕生しましたが、「グローバル補助金」は7つの重点分野により限定されたことや、「地区補助金」は各クラブでの利用が進んだため、奨学金に回る金額が少なくなり、日本からの海外留學生は以前に比べて大幅に減少しました。



この状況を憂慮した日本ロータリー学友会（元留學生で組織する地区学友会の連合体）は、2024年11月に開催された総会において、財団奨学生を増やしてほしいという「提言」を発表しました。この「提言」では、「日本や世界の未来を担う意欲ある日本の若者に、グローバル補助金の7つの重点分野に限らず、地区補助金を利用して、他のあらゆる分野を学ぶ学生に奨学金を与えて欲しい」というもので、地区補助金を利用した奨学生支援を訴えていました。

日本ロータリー学友会が2024年と2025年に34地区に実施したアンケート調査によりますと、2013年から2023年までの11年間に、地区補助金を利用して海外へ留學生を送り出した地区は34地区中16地区（1地区未回答）あり、総数は194名（年平均18名）に留まっていた。約半分の地区が、地区補助金を利用した奨学金制度を利用していないことが判明しました。アンケートでは、利用していない理由として、「募集可能を知らなかった」「検討したことがない」「重点分野が要件と思っていた」という回答と共に、「地区補助金をクラブ補助金等、他の目的で使用しているため奨学金として回せる金額がない」という回答が多くみられました。

昨今の日本人留學生の実情をみますと、円安が進み、渡航費や滞在費など経済的負担が大きくなってきています。また、海外では留學生の授業料が高く設定されていて、アメリカ約1.5倍、カナダ約2倍、フランスなどは約15倍にもなっており、留学環境は年々厳しさを増している実情があります。資金調達でも「自費・仕送り」が大半を占めており、奨学金の利用が極めて少ないということで、経済的に余裕のある家庭の子供しか留学出来ないという状況が見受けられるようです。日本の学生により国際感覚を磨いてもらい、世界で活躍するリーダーとなってもらうためにも留学は貴重な体験であり、ロータリーの方で様々な分野の国際人を養成していくことはより重要性を増しているのではないかと思います。当地区では、現在地区補助金を利用して留學生を送り出していないのですが、より多くの学生がロータリー財団の奨学金を利用して留学できる方法を検討していくことも重要ではないかと考える次第です。



コーディネーター
NEWS

2026年5月号 No.3

発行：Region 1, 2 & 3
RMC, RPIC, RRFC, E/MGA, EPNC
行動計画推進リーダー
国際大会推進チーム

第3地域 ロータリー財団地域コーディネーター補佐 吉田 知弘（福岡東 RC）

この度、全国のロータリアンの皆様へ広くレターを差し上げる機会を賜り、大変ありがたく存じます。私は、第3地域ロータリー財団地域コーディネーター補佐として、九州4地区の担当を仰せつかっております。会員の皆様からの寄付増進を図り、ロータリー活動の礎を創ることを役割と認識し、微力ながらも貢献できればと願っております。そのような立場から、ロータリーの諸活動に関して思うところを少しでもお伝えしたいと思い、本稿を寄せます。



ロータリーの発展は、しばしば3つの要素（奉仕プロジェクト、公共イメージ、会員増強）のスパイラルによって支えられると説明されます。たしかに、①意義深く効果的な奉仕プロジェクトにより社会をよりよい状態へと導くことができれば、その実践を通じてロータリーが好意をもって社会に認知されます。②その好感度の高まりは、パートナーシップとエンゲージメントの機会を広げると同時に、メンバーの自尊心と積極的な参加意欲を高め、結束力の高まりを通じてクラブとロータリーを一層魅力的な存在へと向上させます。③このような成果の集積により、クラブ拡大と会員増強もよりよく達成されます。

この3つの要素が好循環のスパイラルを描き出す様子をイメージすると、ロータリー活動にも取り組む意欲も自ずと増すことでしょう。その一方で、意義あるロータリーの諸活動がロータリー財団への寄付によって支えられていることを忘れてはなりません。その意義をご理解いただき、是非とも寄付の増進にご理解とご協力を賜りたいと願っております。

さて、こうしたロータリーの重要な取組の一つである「ロータリー平和センター」をご紹介させていただきます。これは平和学に優れた大学の中に「ロータリー平和センター」を設け、世界からの留学生（ロータリー平和フェロー）を招き入れて、積極的な平和構築のエキスパート（Peace Builder）として養成し、そのスキルを高めて世界に送り出してゆく活動です。2002年にスタートし、現在では世界に8か所、うち1つが日本の国際基督教大学に設置されています。

現在、注目を集めるイランのホルムズ海峡の封鎖問題をはじめ、国際的な武力紛争が随所で頻発しており、国際情勢は極めて不安定で危機的な状況にあります。こうした国際情勢をみるにつけ、平和への取組の重要性を思わずにはいられません。平和構築の専門家を養成する平和センターの取組は、一層その重要性を増していると思われます。

国際基督教大学の平和センターのことは、これを支えるホストエリア（首都圏7地区）の外に出るとなかなか周知されない状況にあることは否めません。よくご存じの方もそうでない方も、本稿をご覧いただきましたら、是非ネットの検索エンジンで「ロータリー平和センター」を検索してみてください。その充実した取組の内容をご確認いただけることと思います。

トップページへ
戻ります



Sequence

08 2026年3月会員数報告

MyRotaryより（アルファベット順）

クラブ名	2025年7月1日	2026年1月1日	2026年3月31日
	会員数	女性会員数	会員数
足利	24	2	24
足利東	40	4	39
足利わたらせ	27	0	31
足利西	12	0	12
馬頭小川	15	0	17
今市	40	0	41
今市きぬ	24	0	24
岩舟	8	0	8
鹿沼	56	1	59
鹿沼東	43	7	46
烏山	13	2	13
黒磯	32	3	34
葛生	38	0	37
益子	29	3	28
壬生	15	1	15
真岡	45	1	48
真岡西	39	5	38
日光	17	4	17
西那須野	43	2	42
大田原	18	2	18
大田原中央	16	1	17
小山	21	1	21
小山中央	24	2	24
小山東	22	0	20
小山北	26	0	25
小山南	16	2	16
佐野	46	1	49
佐野東	21	1	19
下野上三川	24	3	24
高根沢	10	1	10
田沼	44	0	44
栃木	43	6	45
栃木南	35	9	38
栃木西	28	1	29
氏家	27	3	31
宇都宮	95	4	98
宇都宮90	39	5	40
宇都宮東	96	0	98
宇都宮北	43	0	43
宇都宮さつき	22	5	21
宇都宮南	56	7	56
宇都宮西	65	0	67
宇都宮陽北	63	6	62
宇都宮陽南	18	5	19
宇都宮陽東	48	10	47
45RC	1526	110	1554
<RAC>			
足利東	4		4
足利大学	14		24
蔵の街とちぎ	5		5
作新学院大学	4		13
宇都宮東	5		9
文星芸術大学			13
国際医療福祉大学			11
7RAC	32		79

留意事項：データの更新は、RIが受領してからレポートに反映されるまで6～7日程かかる場合があります。

トップページへ
戻ります